

# 本院における院内感染防止対策の取り組み

2022/4/1

患者さん及び職員を感染の危険から守るため、本院では院内感染防止対策に積極的に取り組んでいます。

## 1. 院内感染防止対策の体制

本院では、病院長、医療安全管理責任者及び感染管理部が中心となり、院内感染を未然に防ぐことができるシステムを整備し、病院全体で組織的・継続的に院内感染防止対策に取り組んでいます。

## 2. 院内感染防止対策の実践

院内感染防止マニュアルに基づき、職員の手洗いや手指消毒、状況に応じた个人防护具（手袋・エプロン・ガウン・マスクなど）の使用を徹底し、感染防止に努めています。また、感染管理部による院内ラウンドを実施し、各部署との情報共有を行っています。さらに、全職員を対象とした院内感染に関する研修を定期的に行い、個々の職員の院内感染に対する知識、技能及び意識の向上を図っています。

## 3. 抗菌薬適正使用に向けた取り組み

感染症診療において必要な抗菌薬を適切な量を適切な期間使用できるように、病院全体で取り組んでいます。感染症に対する最大限の治療効果を引き出し、患者さんに害を与えず、耐性菌を増やさないことを目標に、抗菌薬の適正な使用に努めています。

## 4. 地域の医療機関との連携

本院では「感染対策向上加算1」を算定しており、感染防止対策において地域の医療機関との連携を行っています。

高知大学医学部附属病院

|               |         |            |        |
|---------------|---------|------------|--------|
| 医療法等に基づく掲示（医） | 掲示部署・係名 | 診療請求係      | 掲示許可番号 |
|               | 掲示日     | 2024年10月1日 | 5      |